

ひとときの安らぎをくれた生活支援



▲志津川地区沼田に仮設された大浴場。陸上自衛隊西部方面隊第8師団が提供してくれた。
大きなお風呂で身も心も温まる。

熊本から救援に駆けつけた自衛隊が仮設したお風呂は通称「火の国の湯」と呼ばれ、その中は温かな湯気で満たされていた。全身を洗い、このお風呂で温まると、疲れが癒された。瓦礫だらけの町の厳しい現実をひととき忘れて、みんなが笑顔になった。



▲陸上自衛隊西部方面隊第4師団による炊き出し
(2011(平成23)年4月26日)

写真提供 陸上自衛隊東北方面隊

自衛隊が炊き出ししてくれるあたたかい食事は、当初冷たいものしか口にできなかった住民たちに生きる力を与えてくれた。なるべく多くの人々に、栄養のあるあたたかい食事を取ってもらいたいと工夫された炊き出しは、私たちにとって忘れられない味になった。